

欧州（仏国、英国）におけるトッププロモーションの実施結果について

令和元年 10 月 31 日
 広域観光・文化・スポーツ振興局

令和元年度のトッププロモーションは、ゴールデン・スポーツイヤーズや 2025 年大阪・関西万博の開催などに向けて、欧米豪諸国でも日本への関心が高まってきていることから、日本文化への関心が高いフランス、イギリスにおいて、「関西」の認知度向上と誘客促進を目指し、国や関西経済界等と連携して以下のとおり実施しましたので、ご報告します。

1 時 期

10 月 13 日（日）～10 月 20 日（日）

2 主な参加者

西脇 隆俊（京都府知事、関西広域連合 広域観光・文化・スポーツ振興担当）
 永藤 英機（堺市長）
 村田 崇（奈良県副知事、関西広域連合 広域観光・文化・スポーツ振興副担当）
 由布 和嘉子（滋賀県副知事）
 荒木 一聡（兵庫県副知事）
 八木 一夫（国土交通省近畿運輸局長）
 山谷 佳之（関西エアポート株式会社代表取締役社長）
 宇田川 雄彦（一般社団法人日本旅行業協会関西支部長）
 東井 芳隆（一般財団法人関西観光本部専務理事）ほか、計 37 名

3 主な行程

10/13(日)	関西国際空港発→パリ着
10/14(月)	パリ市、ヴァンシとの会談
10/15(火)	ユネスコ関係者等との会談、観光プロモーション、KANSAI 観光大使委嘱式、レセプション
10/16(水)	イル・ド・フランス州との会談
10/17(木)	英国旅行業協会との会談、観光プロモーション、レセプション
10/18(金)	ビジット・ブリテン、在英国日本国大使館との会談
10/19(土)	ロンドン発（パリ経由）
10/20(日)	関西国際空港着

4 概 要

（1）パリ市 マルタンス・ジャン・フランソワ副市長との会談（10 月 14 日（月）15:30～16:30）

パリ市マルタンス・ジャン・フランソワ副市長と観光政策について意見交換を行った。パリ市では民泊の増加により家賃が高騰するなど市民生活に影響が出ており、民泊の営業日数の縮小を政府へ働きかけるとともに、ファミリーが宿泊できるタイプのホテルの客室増加を推進していることであった。

また、パリ市内の一部の地域に集中している観光客を市内の各



行政区へ分散化する取組を強化していること、自転車専用道路を拡大し、環境への配慮に重点をおいていることなどの説明があった。

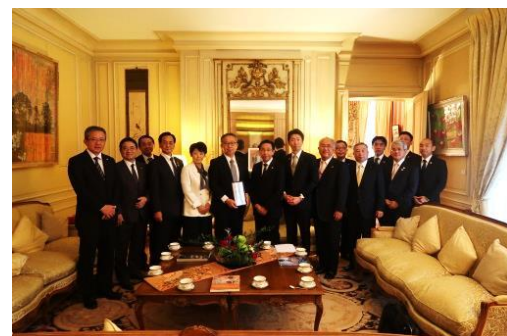
(2) ヴァンシ グザビエ・ユイヤード会長との会談（10月14日（月）19：30－22：00）

関西エアポート株式会社に出資するヴァンシ主催の夕食会に参加し、グザビエ・ユイヤード会長やヴァンシ関係者らとフランスと日本の友好を深めるための意見交換等を行った。



(3) ユネスコ日本政府代表部 山田滝雄大使との会談（10月15日（火）08：35－9：05）

ユネスコ日本政府代表部山田滝雄大使と本年7月に世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」をはじめ、関西の世界遺産の保全と活用など文化・観光に関する意見交換を行った。



(4) ユネスコ本部世界遺産センター メヒティルド・ロスラーセンター長との会談 （10月15日（火）09：35－10：15）

ユネスコ本部世界遺産センターメヒティルド・ロスラーセンター長と「百舌鳥・古市古墳群」をはじめとする関西の世界遺産の保全、継承及び来訪者の受入環境整備の在り方などについて意見交換を行った。メヒティルドセンター長からは、ビジターのためのインフラ整備は必要であるが、観光客が多く来すぎることは危険であり、都市の規模に応じたルールづくりが必要との発言があった。



(5) SETO ルネ・マルク・チクリ会長との会談（10月15日（火）13：00－15：00）

民間の旅行業者の団体である SETO のルネ・マルク・チクリ会長をはじめとする SETO 関係者との昼食会を開催し、関西の魅力についてPRを行うとともに、今後の交流に向けたネットワークづくりを行った。



(6) フランス・パリ観光プロモーション (10月15日(火) 17:00-20:30)

フランスの観光事業者やメディアなど約50名を招き、ユネスコのレストラン会場で観光セミナーを実施し、各構成府県市や関西観光本部が関西の魅力をPRした。

また、ユネスコのオードレ・アズレ事務局長やユネスコ日本政府代表部の山田滝雄大使、各国のユネスコ代表部の方々などユネスコの要人や、在仏日本国大使館の堀内俊彦公使、フランスの観光事業者、メディア、団体など約110名が参加した交流レセプションを開催した。会場では、KANSAI観光大使の委嘱式を実施するとともに、芸舞妓による舞の披露など関西文化の魅力を紹介した。



(7) イル・ド・フランス州 アミダ・レゼグ副議長との会談と覚書の締結 (10月16日(水) 16:30-17:30)

アミダ・レゼグ副議長やクリストフ・ドゥクル州地方観光局長と観光面での相互協力について意見交換を行い、定期的な情報交換や共同プロモーション活動の実施など、両自治体で観光分野における協力活動発展のための覚書を締結した。

今後、相互協力の具体的な内容については、同州地方観光局と関西観光本部で協議していくことになった。



(8) 英国旅行業協会 マーク・タンザー会長との会談 (10月17日(木) 11:15-11:50)

英国旅行業協会のマーク・タンザー会長、ニッキー・ホワイト部長とヒースロー空港と関西空港間の直行便の就航を契機とした、関西と英国の更なる相互交流の促進に向けて意見交換を行った。マーク会長からは、英国では環境に対する関心が非常に高いので、各訪問地のPRに合わせて関西の環境の質の高さについてもアピールすべきとのアドバイスがあった。



(9) イギリス・ロンドン観光プロモーション（10月17日（木）16：00－20：30）

イギリスの観光事業者やメディア、スポーツ団体など約30名を招き、奈良県、関西エアポート株式会社と連携し、大英博物館で奈良の仏像展の見学会、観光セミナー・交流レセプションを開催した。交流レセプションでは、在英国日本国大使館の鶴岡公二大使にも参加いただくとともに、芸舞妓の出演などにより、関西文化の魅力を紹介した。



(10) ビジット・ブリテン パトリシア・ヤティス部長との会談（10月18日（金）10：00－10：35）

ビジット・ブリテンのパトリシア・ヤティス部長と関西と英国の更なる相互交流に向けた意見交換を行った。パトリシア部長からは、イギリスでは観光消費額による成長を目標としていることやロンドン以外の郊外への誘客促進に重点を置いて取り組んでいることなどについて説明があった。



(11) 在英国日本国大使館 鶴岡公二大使との会談（10月18日（金）14：15－15：15）

在英国日本国大使館の鶴岡公二大使を訪ね、前日のレセプション参加のお礼と意見交換を行った。鶴岡大使からは、近年イギリス国内では日本への関心が高まっている一方で、日本人は英語が話せる人が少ないため、イギリス人が訪問先として選びにくいこと、その解決に向けては、自動翻訳機が良いこと、JETプログラムの同窓生の活用についてアドバイスがあった。

